

(38) し そ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 青枯病 <i>Ralstonia solanacearum</i>	1. 無病地を選ぶ。 2. 排水不良地には栽培しない。 3. 定植時に苗に傷みが生じないよう、注意する。 4. 発病株は見つけしだい除去し、圃場外へ持ち出し、埋設等で処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	－ －	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
2 さび病 <i>Coleosporium plectranthi</i>	1. 肥料切れは発病を助長するので施肥管理に注意し、肥料切れにならないようにする。	発 生 初 期	3 3 3	ト リ フ ミ ン 水 和 剤 ラ リ ー 乳 剤 オ ン リ ー ワ ン フ ロ ア ブ ル
3 斑点病 <i>Corynespora cassicola</i>	1. 密植を避け、株間の湿度上昇を避ける。 2. 窒素過多に注意する。 3. 灌水を控える。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ダコニール 1 0 0 0 は斑点病による株枯症に効果がある。	発 生 初 期	11 M1 M5	ス ト ロ ビ ー フ ロ ア ブ ル キ ノ ン ド ー 水 和 剤 4 0 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
4 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 周囲にシルバーテープをはる。 3. シルバーマルチをする。	発 生 初 期	3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 29 －	ア デ ィ オ ン 乳 剤 ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤 ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤 ト ラ ン ス フ ォ ー ム フ ロ ア ブ ル ウ ラ ラ D F エ コ ピ タ 液 剤
5 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. アファーム乳剤はヨトウムシにも登録がある。	若 齢 幼 虫 期	6 15 18 28 UN	ア フ ァ ー ム 乳 剤 カ ス ケ ー ド 乳 剤 マ ト リ ッ ク フ ロ ア ブ ル フ ェ ニ ッ ク ス 顆 粒 水 和 剤 ブ レ オ フ ロ ア ブ ル
6 ハダニ類	1. 周辺雑草を除去する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. カネマイトフロアブルはカンザワハダニに登録がある。 2. コロマイト乳剤はサビダニ類、チャノホコリダニにも登録がある。 3. スターマイトフロアブルはチャノホコリダニにも登録がある。	発 生 初 期	6 6 10A 20B 20D 21A 25A UN	ア フ ァ ー ム 乳 剤 コ ロ マ イ ト 乳 剤 ニ ッ ソ ラ ン 水 和 剤 カ ネ マ イ ト フ ロ ア ブ ル マ イ ト コ ー ネ フ ロ ア ブ ル ダ ニ ト ロ ン フ ロ ア ブ ル ス タ ー マ イ ト フ ロ ア ブ ル モ レ ス タ ン 水 和 剤
7 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。 4. 苗で本圃に持ち込まない。	発 生 初 期	3A 5 34	ア デ ィ オ ン 乳 剤 ス ピ ノ エ ー ス 顆 粒 水 和 剤 フ ァ イ ン セ ー プ フ ロ ア ブ ル
8 ネコブセンチュウ	1. 水田に転換可能な畑では、2～3年に1回の割合で水田に戻す。 2. 苗からの持ち込みを防止するため、センチュウ類や病害のおそれのない用土で育苗する。 3. 施設では、夏期約1か月間の太陽熱利用による消毒を行う。	定 植 前	1B	ラ グ ビ ー M C 粒 剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

(39) しそ(花穂)

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 さび病 <i>Coleosporium plectranthi</i>	1. 肥料切れは発病を助長するので施肥管理に注意し、肥料切れにならないようにする。	発 生 初 期	3	ラ リ ー 乳 剤
2 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	4A 4A 4A	アドマイヤーフロアブル アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤
3 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。 4. 苗で本圃に持ち込まない。	発 生 初 期	5	スピノエース顆粒水和剤
4 ハダニ類	1. 周辺雑草を除去する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スターマイトフロアブルはチャノホコリダニにも登録がある。	発 生 初 期	6 10A 20D 25A	コロマイト乳剤 ニッソラン水和剤 マイトコーネフロアブル スターマイトフロアブル
5 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	若 齢 幼 虫 期	15 UN	カスケード乳剤 プレオフロアブル
6 ネコブセンチュウ	1. 水田に転換可能な畑では、2～3年に1回の割合で水田に戻す。 2. 苗からの持ち込みを防止するため、センチュウ類や病害のおそれのない用土で育苗する。 3. 施設では、夏期約1か月間の太陽熱利用による消毒を行う。	定 植 前	1B	ラグビーMC粒剤

(40) バジル

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 排水をよくし、過繁茂にならないようにする。 2. ハウス栽培では過湿にならないように換気を良好にする。 3. 発病株は除去し、処分する。	発 生 初 期	11	ストロビーフロアブル
2 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って処分する。 2. 夏期に湛水可能な圃地は高温時に20日以上湛水すると菌核が死滅するので、有効である。	発 生 初 期	2	ロブラール水和剤
3 ベと病 <i>Peronospora belbahrii</i>	1. 排水を良好にする。 2. 密植にならないようにする。 3. 被害葉は早めに処分する。	発 生 初 期	21 40	ランマンフロアブル レーバスフロアブル
4 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	3A 4A 4A 4A 4A	アグロスリン乳剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤
5 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。 4. 苗で本圃に持ち込まない。	発 生 初 期	5	スピノエース顆粒水和剤
6 ハモグリバエ類	1. 圃場内や圃場周辺雑草を防除する。	発 生 初 期	17	トリガード液剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

バジル

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
7 ハスモンヨトウ	1. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期	15 UN	カ ス ケ ー ド 乳 剤 プ レ オ フ ロ ア ブ ル
8 ヨトウムシ類	1. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。			
9 ハダニ類	1. 周辺雑草を除去する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	6	コ ロ マ イ ト 乳 剤

（４１） う ど

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 黒斑病 <i>Alternaria panax</i> <i>Alternaria</i> sp.	1. 肥料切れは発病を助長するので、肥培管理に注意する。 2. 被害茎葉は集めて処分する。	根 株 養 成 期 （発病前から）	2 M1 M5	ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤 ド イ ツ ボ ル ド ー A ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
2 疫病 <i>Phytophthora cactorum</i>	1. 高畦にして排水を図る。 2. 敷きわらなどを行い、雨のはね返りを防ぐ。	伏 せ 込 み 時 （発病前から）	M1・4	（ 混 ） リ ド ミ ル 銅 水 和 剤
3 白絹病 <i>Sclerotium rolfsii</i>	1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 3. 被害株は抜き取り、処分する。 4. 圃場を1か月間湛水し、菌核を死滅させる。	根株養成畑定植前 （発病前から）	14	リ ゴ レ ッ ク ス 粉 剤
		発 病 前 か ら	14	リ ゴ レ ッ ク ス 水 和 剤
4 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って処分する。	伏 せ 込 み 時	2	ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤
5 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 周囲にシルバーテープをはる。 3. シルバーマルチをする。	根 株 養 成 期 （ 発 生 初 期 ）	3A 3A 4A	ト レ ボ ン E W ト レ ボ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル
6 ヨトウムシ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	根 株 養 成 期 （若齢幼虫期）	1B	ス ミ チ オ ン 乳 剤
7 センノカミギリ	1. 樹勢を衰弱させないよう栽培管理に注意する。 2. 枯死株を処分する。	根 株 養 成 期 （ 発 生 前 ）	1B	ス ミ チ オ ン 乳 剤
		成虫飛来初期 ～盛期	1B	カ ル ホ ス 粉 剤
8 シクラメンホコリダニ	1. 苗で本圃に持ち込まない。 2. 雑草からの移動もあるので、雑草処理を徹底する。	根 株 養 成 期 （ 発 生 初 期 ）	13	コ テ ッ フ ロ ア ブ ル

（４２） たらのき

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 立枯疫病 <i>Phytophthora cactorum</i>	1. 罹病根によって伝染するので、被害植物残さは完全に処分する。 2. 病土の移動によって伝染するので注意する。 3. 透水性の悪い圃場では排水対策を行う。 4. 除草や株整理などの管理作業の際に根を傷めないように注意する。 《薬剤使用の特記事項》 1. 若葉利用栽培の作型には農薬を使用しない。	収穫終了後(苗の場合は植付後)～ 梅 雨 期 (発 病 前 か ら)	4	リ ド ミ ル 粒 剤 2

農薬の使用手法や注意事項はラベルで確認する

たらのき

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
2 胴枯病	1. 樹勢を衰弱させないよう、栽培管理に注意する。 2. 病枝は切り取る。 3. 害虫防除に努める。	発 芽 前 (発病前から)	UN	石 灰 硫 黄 合 剤
3 そうか病 <i>Elsinoë araliae</i>	1. 初発葉を見つけたら速やかに除去する。	伏 せ 込 み 前 (発病前から)	1 11	ト ッ プ ジ ン M 水 和 剤 ス ト ロ ビ ー フ ロ ア ブ ル
4 芽枯症		伏 せ 込 み 後 (発病前から)	1	ト ッ プ ジ ン M 水 和 剤
		発 病 前 か ら	1	ベ ン レ ー ト 水 和 剤
5 センノカミキリ	1. 樹勢を衰弱させないよう、栽培管理に注意する。 2. 枯死株を処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スミチオン乳剤はセンノカミキリ幼虫に登録がある。	3～5月 株養成期	1B	ス ミ チ オ ン 乳 剤
		成 虫 発 生 初 期	4A － (生)	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 (生) バイオリサ・カミキリ
6 ハダニ類	1. 圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	13	コ テ ツ フ ロ ア ブ ル

(43) くわい

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 火ぶくれ病 <i>Doassansiopsis deformans</i>	1. 被害茎葉は集めて処分する。	発 病 前 か ら	M1	Z ボ ル ド ー
2 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	29 4A 4A 4A	ウ ラ ラ D F ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤

(44) はっか

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	3A 4A 4A 4A 4A	ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤
2 ハダニ類	1. 周辺雑草を除去する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	6	コ ロ マ イ ト 乳 剤
3 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。 4. 苗で本圃に持ち込まない。	発 生 初 期	5	ス ピ ノ エ ース 顆 粒 水 和 剤
4 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期	15	カ ス ケ ー ド 乳 剤

(45) モロヘイヤ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 軟腐病	1. 窒素質肥料の多用は避ける。 2. 排水を良好にする。	発 病 初 期	NC・M1	(混) ジ ー ファ イン 水 和 剤
2 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 排水をよくし、過繁茂にならないように施肥整枝を行なう。 2. 茎葉残さは圃場外で処分する。	発 病 初 期	11	ア ミ ス タ ー 2 0 フ ロ ア ブ ル

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

モロヘイヤ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
3 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 圃場周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	1B	ス ミ チ オ ン 乳 剤
4 コナジラミ類	1. 苗で本圃に持ち込まない。 2. 圃場内及び周辺雑草を防除する。	発 生 初 期	4A 4A	モ ス ビ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ベ ス ト ガ ー ド 水 溶 剤
5 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。	発 生 初 期	1B 3A 4A 4A 4A 5 13	ス ミ チ オ ン 乳 剤 ト レ ボ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤 ス ピ ノ エ ー ス 顆 粒 水 和 剤 コ テ ヅ フ ロ ア ブ ル
6 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期	6 15 28	ア フ ァ ー ム 乳 剤 カ ス ケ ー ド 乳 剤 プ レ バ ソ ン フ ロ ア ブ ル 5
7 ハダニ類	1. 圃場内や圃場周辺雑草を防除する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	6 21A 25A	コ ロ マ イ ト 乳 剤 ダ ニ ト ロ ン フ ロ ア ブ ル ダ ニ サ ラ バ フ ロ ア ブ ル

(46) エンサイ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 軟腐病	1. 窒素質肥料の多用は避ける。 2. 排水を良好にする。	発 病 初 期	NC・M1	(混) ジ ー ファ イ ン 水 和 剤
2 白さび病 <i>Albugo ipomoeae-aquaticae</i>	1. 排水を良好にし、過湿を避ける。 2. 密植したり、過繁茂にならないようにする。 3. 窒素過多にしない。 4. 被害茎葉は集めて圃場外に持ち出し、処分する。	発 生 初 期	21 P7	ラ ン マ ン フ ロ ア ブ ル ア リ エ ッ テ ィ 水 和 剤
3 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 周囲にシルバーテープをはる。	発 生 初 期	4A 4A	モ ス ビ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤
4 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本虫対象にアフームまたはコテツで防除を実施しているところでは、ハダニ類の発生が少なくなる。 2. 本虫対象にアタブロン、アフーム、コテツで防除を実施しているところでは、イモコガの発生が少なくなる。	若 齢 幼 虫 期	3A 6 13 15	ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ア フ ァ ー ム 乳 剤 コ テ ヅ フ ロ ア ブ ル ア タ ブ ロ ン 乳 剤
5 イモコガ	1. 密植、多肥による過繁茂を避ける。	発 生 初 期	3A	ト レ ボ ン E W
6 アザミウマ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 育苗床は飛び込み軽減のため、防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 3. 周囲にシルバーテープをはる。 4. 苗で本圃に持ち込まない。	発 生 初 期	5	ス ピ ノ エ ー ス 顆 粒 水 和 剤
7 ハダニ類	1. 圃場内や圃場周辺雑草を防除する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	6	コ ロ マ イ ト 乳 剤
8 ネキリムシ類	1. 被害株周辺を軽く掘り、幼虫	発 生 初 期	3A	ガ ー ド ベ イ ト A
9 オンブバッタ	1. 周辺雑草を防除する。	発 生 初 期	3A	テ ル ス タ ー フ ロ ア ブ ル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する